

第5回人づくりコンテスト 夜間でも分かる非常食表示

応募作



非常食を常備したもの、従業員へ周知できていなかったり、非常時（電気等のライフラインが途絶えた際）に保管場所が分かりにくかった。

工場は24時間稼働なので、夜間でも容易に確認できる蓄光シートを活用し分かりやすい表示に変更した。また、保管場所も変更し、この表示をしたことで、従業員への周知が進んだ。

安全表示で

人づくり

ビーポップを活用した安全活動事例

第27回

タキロンポリマー株式会社

会社概要

●本社所在地：福岡県八女市 ●設立：2006年 ●従業員：82名（2022年9月末現在） ●主な事業内容：合成樹脂（プラスチック）製品の製造、加工および販売。 ●生産品目：合成樹脂製フィルタープレス用濾過板、切削加工用合成樹脂素材。

現場主体で安全表示を作成し 全社的な安全意識の向上を図る

福岡県八女市今福に本社のあるタキロンポリマー（株）は、プラスチック樹脂製品の製造、加工、販売を行っています。切削加工用素材は、半導体製造装置及び関連機器、食品機械、その他産業機械に使用されており、耐薬品性や加工性が最大の強みです。また、フィルタープレス用大型濾過板は、固液を分離する目的の機械部品として使用されており、食品分野から鉱山開発の現場など日本国内はもとより海外でも幅広く使用されています。押出機等の生産設備は自社設計で、お客様のニーズに合わせて厚さ、サイズ、樹脂種を取り揃えており、売り上げを着実に伸ばしています。

そんな同社の本社工場では、2022年度の安全方針に「安全で安心な職場環境の維持、強化」を掲げ、労働災害ゼロを目標に日々の安全活動を行っています。また、ビーポップでは安全表示を作成するだけでなく、固定資産管理に銘板シールを応用するなど、幅広い用途に活用しています。そこで今回、同社業務部の恵良千代子部長に、日頃の安全活動やビーポップの活用などについてお話を伺いました。

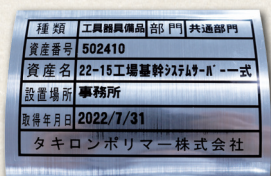
「当社の工場は2012年の完成から10年を経て、案内版などのサイン表示が剥がれているものも散見されます。そういったサイン類についてもビーポップを活用して、新しく実情に沿ったものと貼り替える作業が通り返ったところなんです」と恵良さん。現在は、現場の方が自分たちに必要な材料を、必要な表現で、必要な大きさで作れるという良さを活かすため、ビーポップを現場に設置しているそうです。そうすることで全社的に安全意識が高まることも狙いです。

速やかな災害事例共有と対策 実効性のある安全表示

同社では安全対策の一つとして、タキロンシーアイグループで発生した災害事例の情報共有と速やかな対策に力を入れています。これは、同社独自の取り組みで、他拠点での事例を共有し、社内でも同様の事例が発生する可能性がないかを検討、洗い出しをしたうえで自社に置

固定資産管理にも活用

R2・2 固定資産No.502130
R1・9 固定資産No.303980
2019・7固定資産No.400140



現場が意見を出し合いながら、オリジナルの安全表示を作成している。

これまでは日付と固定資産ナンバーしか表示できなかった（上）が、ビーポップで銘板シールを作成することで、稟議書ナンバーや設置場所など多くの情報を盛り込むことができ、固定資産管理が飛躍的に効率化した。

また恵良さんは、「私は採用も担当しているのですが、将来的には外国人の採用も視野に入れています。それが実現した際には、日本語がよく分からなくても直感的に感じ取ることができる安全表示を作成することが、危険防止に有効だと考えています」と、今後のさらなる活用拡大に期待を寄せています。

お問い合わせ

マックス株式会社

オフィスプロダクツ営業部

安全表示・人づくりコンテスト事務局

人づくりコンテスト

検索

TEL:03-3669-8108(代) Mail:anzen@max-ltd.co.jp